

# Next Step

平成28年4月18日  
県事研研究部

No.15

こんにちは!!県事研研究部です。いよいよ28年度がスタートしました。  
新採用のみなさま、おめでとうございます。福井県公立小中学校事務職員研究会は、がんばるあなたをサポートする組織です。福井の子どもたちのためにこれから一緒にがんばりましょう。  
2年目～のみなさま、昨年度より一歩だけ、次のステップへ踏み出しませんか?研究部がお手伝いします!!

## つながり行動する 事務職員をめざして



学校

家庭・地域



私たちは、学校と家庭・地域、教育行政をつなぐことはもちろん、事務職員自身もそのつながりの中に入り、共に教育について考え行動することが大切だと考えています。

実現するために

教育行政



## 学校事務グランドデザイン があります

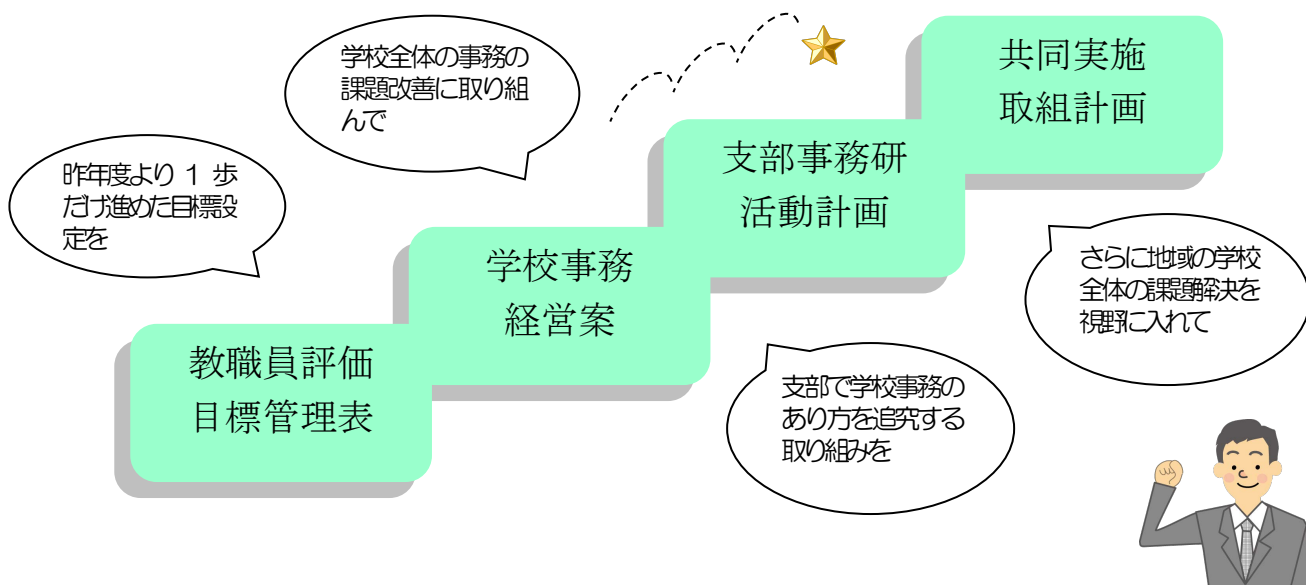
福井県の「学校事務グランドデザイン」は「つながり行動する」をキーワードに、子どもたちのために学校事務職員として何をしなければならないのかを描いた福井の学校事務の全体構想です。

めざす姿であり  
目標なのだ~

3月に配信した「実行策(試行)」の中には具体的な実践のヒントがみついています。人事評価制度本格実施の今年、どんな取組をしたらいいかわ迷っている方必見です。



年度始めには、地域や学校の実情、昨年度までの学校評価をもとに  
今年度の取組目標を決め、できることから実行しましょう！



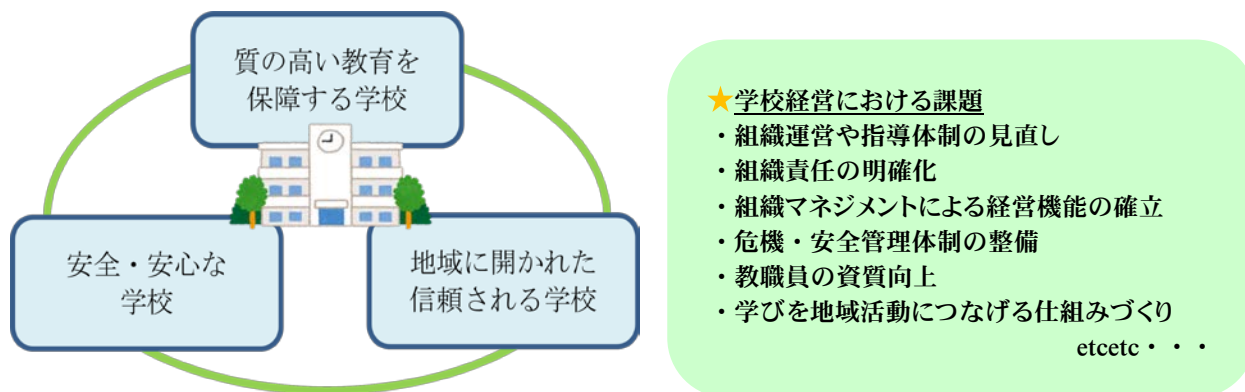
グランドデザイン新実行策は、会員一人一人のための内容となっています。

支部や共同実施の計画の際には、取組や実践例について組織としての取組に置き換えて考えてみてください。(すべてが置き換えられるわけではありません。ご了承ください m(\_)\_m)

※「学校事務」とは、事務職員が担当している事務だけでなく、学校にあるすべての学校事務を指します。

## これからの学校事務は・・・「学校経営の中核的役割を担う事務機能へ」

地域の未来を創り出す子どもたちの成長のために、課題を学校だけで解決するのではなく、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を認識し、今まで以上に連携・共同して教育に取り組むことが求められています。



学校は、地域に開かれた学校づくりをとおして説明責任を果たしつつ、意思決定に保護者・地域の願いや思いを取り込み、共有した子ども像の実現に向けてビジョンを描き、学校経営を推進していかなければなりません。

学校事務にはさまざまな人が協働・連携しながら学校経営の中核として機能し、教育目標の実現や課題解決のための仕組みづくりを行うことが期待されています。

県事研研究部は、組織的學校事務のあり方を追究すると共に、マネジメント機能を発揮する学校事務への転換を推進し、安定した質の高い学校事務を実現していくことを提案します。



# グランドデザイン愛称について

昨年度の秋季研究会や平成 27 年 12 月発行の Next Step No. 14 号で告知させていただいた、グランドデザイン愛称についてお知らせをします。

ホームページ「きらり」で3月中旬まで募集をさせていただいたところ、短い募集期間にも関わらず、県外や学校事務職員でない方からの応募もあり、最終的に12点の応募がありました。研究部で選考した結果、会員のみなさまには下記の4点の中から投票をしていただき、愛称を決定したいと思います。



つぐみ

福井県の鳥「つぐみ」にちなみ子どもの想いを「継」ぎ、育ちを「実」のらせるグランドデザインという思いを込めました。

夢・ふくらむプラン

“夢ふくらむ”をベースに、「福井」と「スクラム」をかけました。

ふくい輝きビジョン

ホームページ「きらり」から”輝き”という言葉を使いました。

Fuku-note  
(ふくのーと)

Fuku-note = 福ノート = 福の音 = 福音 (ふくいん)  
2つの意味が込められています。

1. 子どもたちがいっぱい「ノート」に書いて勉強するように、私たちもたくさんの夢をグランドデザインとして描く
2. 福の音、つまり「福音」とは「いい知らせ Good News」といった意味です。福井っ子たちの喜ばしい知らせがこれからもたくさん聞けますように・・・、そんな思いが込められています

愛称募集

研究部で選考

会員による投票  
春季研究会  
参加申込み時

愛称決定

愛称発表  
春季研究会当日

上記4点以外にも、それぞれ素敵なネーミングやそのネーミングに対する熱い思いが込められていました。すべてをご紹介できず残念です。たくさんご応募いただき、本当にありがとうございました。